



山 梨 大 学 新 技 術 情 報 ク ラ ブ

～ コーディネータコラム ～

2020/11/6

【令02-15号】

本メールマガジンは山梨大学 新技術情報クラブ会員の皆様へ最新情報をお知らせする目的で配信しております。メール配信を希望されない方は、「配信停止」とお書きの上、ご返信ください。

コーディネータコラム

社会連携・知財管理センター
副センター長・統括コーディネータ 還田 隆

新技術情報クラブ会員の皆様

いつもお世話になっております。早くも11月となりまして本会の活動を振り返ってみますと、対面の活動が出来なかった事を残念に思っております。そこで、以前にもご連絡しました通り、WEB開催を検討しております。皆様へ近々アンケートをお願いいたします。別に担当からもご連絡を致しますが、次の問い合わせとなります。

- ・ 希望する研究者氏名：分野や内容でも結構です。
- ・ 開催時期：11月23日から12月4日までの稼働日でご希望を順番付きで6か所お示してください。
- ・ 御社での参加人数：大体で結構ですので、視聴端末数をお示してください。

本件のご回答を、望月(renkei-as@yamanashi.ac.jp)までよろしく願います。

さて、次の話題です。

ホットな話題ではありますが、現在国では補正予算の検討が進んでおります。確定事項はこれからなのでお伝えできませんが、新型コロナ対策に関連した制度設計が進められる可能性が高いとの情報があります。

この中で研究開発資金に関連する点も検討されているそうでして、通常では来年度に向けた公募予算の検討がなされるどころですが、年度内臨時公募を立てるための検討が含まれるという話です。現実としてどのような結論になるのかは見守っている段階ではありますが、何時公募が始まってもしよ様に、例年より早めに申請準備をされた方が宜しいかもしれません。しかも、例年もそうではありますが、補正予算による制度は、大方年度内に行使するものがほとんどですので、迅速着手できるものを纏めておくといいでしょう。(私の見方ですので取り扱いのご自身の判断でお願いします。)

最後になりますが、研究用クラウドファンディング情報です。現在、工学域クリスタル研究センターの熊田教授（工学域長）が立てているクラウドファンディングが始まっております。「山梨大学の挑戦！山梨特有の廃棄物のリサイクルプロジェクト」です。

<https://readyfor.jp/projects/yamanashi-recycle>

すでに皆様のご支援の下で成立が完了した「日本のモモせん孔細菌病の被害を安全に最小限に食い止めたい」プロジェクト

<https://readyfor.jp/projects/univ-yamanashi-peach>

と同様に、このリサイクルプロジェクトも成立に向けて進めたいと思っております。
皆様のご支援のほどよろしく申し上げます。

インフォメーション 目次

01 :	プレスリリース	(2件)
02 :	トピックス	(1件)
03 :	イベント	(1件)
04 :	セミナー情報	(4件)
05 :	助成事業および公募情報	(1件)
06 :	事務局からのお知らせ	

<input type="checkbox"/> ■		
■01	プレスリリース	(2件)

◆《クラウドファンディング》 山梨大学の挑戦！ 山梨特有の廃棄物のリサイクルプロジェクト

本学工学部長 熊田伸弘教授(クリスタル科学研究センター)が、山梨県で排出される特有の廃棄物(アワビの貝殻、ワイン瓶などの色付き瓶ガラス、人口水晶の端材)を『役に立つ』新たな無機物質の合成に挑戦します。その研究費の一部をクラウドファンディングで募ることといたしました。多くの方の応援、ご支援をどうぞよろしくお願い致します。

詳しくは下記URLよりご覧ください。
<https://readyfor.jp/projects/yamanashi-recycle>

◆AIによる回転式アナログメーターの自動読み取り技術を開発

本学工学部 茅暁陽教授(コンピュータ理工学科)の研究グループは、エヌエスティ・グローバル株式会社と連携し、AIによる回転式アナログメーターの自動読み取り技術を開発しました。
この技術は、最新の深層学習モデルと組み合わせることによって、様々な環境に設定されているメーターの自動読み取りを可能にしました。
今後は実証研究をさらに進め、エヌエスティ・グローバル株式会社よりサービスを提供していく予定です。

詳しくは下記URLよりご覧ください。
<https://www.yamanashi.ac.jp/wp-content/uploads/2020/11/20201105pr.pdf>

<input type="checkbox"/> ■		
■02	トピックス	(1件)

◆本学工学部機械工学科 浮田芳昭准教授らの研究グループの学術論文が英国王位化学会出版の学術誌に掲載され、研究成果が表紙に採用

前号でお伝えしました本学工学部浮田准教授らの研究グループの学術論文が英国王位化学会出版の学術誌Analytical Methodsに掲載され、研究成果である装置が表紙に採用されました。

詳しくは下記URLよりご覧ください。
<https://www.yamanashi.ac.jp/28201>

■

■03 イベント (1件)

◆「山梨大学個別技術相談会」(対面、リモート)開催のご案内

本相談会は、企業の皆さまに大学研究者の技術の紹介とともに、企業様のご相談内容について、提案・助言等を行います。今抱えている技術的な課題や問題についてご相談したいという方は、この機会にお気軽に相談ください。

また、今回はインターネットを活用した技術相談の期間も設けました。直接面談日には都合がつかない、遠方のため来学が困難だ、対面は控えたいなど、ご相談を悩んでいる方はぜひこの機会をご利用ください。

詳しくは下記URLよりご覧ください。

<https://www.scrs.yamanashi.ac.jp/event/2792/>

□ ■
■04 セミナー情報 (4件)

◆【在日インド大使館、ジェトロ山梨、山梨県】インドビジネス機会セミナー

インドは、今や世界最先端のイノベーション発信拠点として注目され始めています。さらに、製造拠点のハブとして、ASEANやアフリカなど世界各地へ輸出基地としての役割も期待されています。

本セミナーでは、インドの政治・経済や文化、インド企業とビジネスをする上での商習慣の相違や留意事項等、インドに関する初歩的・基礎的な内容を解説するセミナーを開催します。

インドの最新情報を入手できる絶好の機会ですのでぜひご参加ください。

日時：令和2年11月10日(火) 13:00～15:00

場所：やまなしプラザ 1階オープンスクエア内

詳しくは下記URLよりご覧ください。

<https://www.jetro.go.jp/events/yym/68c163e00dcb1702.html>

◆【ジェトロ山梨】オンラインセミナー：海外における水素・燃料電池関連産業の動向と進出可能性

水素・燃料電池産業は、先進地域である欧米のほか、中国においても近年急速な成長が見られます。本セミナーでは、中国の現状と進出可能性について考察します。

上海で新エネルギー分野の調査等従事されているINTEGRAL株式会社の中西豪氏に、中国における水素・燃料電池産業関連の最新動向やビジネスチャンスについて講演いただきます。貴重な機会ですので、ぜひご参加ください。

日時：令和2年11月17日(火) 14:30～16:00

場所：WEBセミナー(ライブ配信(Zoom))

詳しくは下記URLよりご覧ください。

<https://www.jetro.go.jp/events/yym/8148dc2ba5f324bc.html>

◆【関東経済産業局】「医師主導による医療機器開発・デジタル技術活用に向けたニーズ創出・事業化支援セミナー」～第1回オンラインセミナー『Withコロナ時代の医療機関の課題解決の取組』のご案内

本セミナーは日本医師会と連携し、医師から新型コロナウイルス感染

症下の現状や対応、デジタル技術の活用などの取組を講演するとともに、ヘルスケアベンチャーから医療機関の課題解決に貢献するAIやモバイルアプリ、IoT等のデジタル技術を紹介します。

日時：令和2年11月19日(木) 18:00～20:15
会場：オンライン会場

詳しくは下記URLよりご覧ください。

https://www.kanto.meti.go.jp/seisaku/iryokiki/20201119iryo_digital_seminar.html

◆【山梨県プロフェッショナル人材戦略拠点、山梨県、やまなし産業支援機構】オンラインセミナー「中小企業のデジタル化のポイントと実行ノウハウ」

本セミナーでは、県内中小企業の皆様が職場内のデジタル化を進めながら効率的な業務推進・人材活用をする際のポイントについて、補助金活用の実例とともに紹介します。

日時：令和2年12月3日(木) 14:00～15:00
方法：WEB会議システム「Zoomミーティング」でのオンライン配信

詳しくは下記URLよりご覧ください。
<https://www.yiso.or.jp/topics/643.html>



■05 助成事業および公募情報 (1件)

◆【NEDO】「AIチップ開発加速のためのイノベーション推進事業/【研究開発項目 [1]】AIチップに関するアイデア実用化に向けた開発」に係る公募について

本事業では、AIチップに関するアイデアを有する中小企業を公募し、そのアイデアを実用化するために必要な費用を助成します。

詳しくは下記URLよりご覧ください。
https://www.nedo.go.jp/koubo/CA2_100275.html



■06 事務局からお知らせ

～会員企業様の課題をお伺いします～

技術課題や大学の知恵を借りたいなど、ございませんでしょうか。会員企業様の持つておられる技術課題をお伺いします。インターネットを活用したご相談もお受けいたしますので、ご希望の会員様がございましたら、事務局までお気軽にご連絡ください。

-
- 1) このメールの内容は、提供された会員様限りでご使用下さい。
2) メールの内容については国立大学法人山梨大学が著作権を有します。

